

## ★ インフルエンザ予防接種についての疑問 ★

生後間もない赤ちゃんでも  
予防接種したほうがいいの？

インフルエンザの予防接種の適応に関しては、年齢の下限はありませんが、通常生後6カ月未満の乳児にはワクチンを接種しません。これは研究がまだ少なく、十分な知見が得られていないことと、まだ母体由来の免疫の効果が期待できることなどが主な理由です。



同居する家族がインフルエンザにならないように気をつけることが大切です。

毎日 一度だけは あなた自身 おもいきり  
ほめてあげてくださいね ひろはまかずとしの言の葉より

妊婦さんは  
予防接種できるの？

インフルエンザワクチンは病原性をなくしたワクチンなので、妊娠中でも胎児に影響はなく予防接種することができますとされています。しかし、妊娠初期は色々な理由で流産する可能性が高い時期で、米国の報告でも『妊娠のごく初期を除き(妊娠13週前後まで)、インフルエンザシーズンの前に行うことが望ましい』とされています。



## どのくらい効果が続くの？

個人差はありますが、接種から通常約2週間程度で効果が現れ、約5ヶ月ほど効果が持続するとされています。

避妊しないといけないの？  
授乳中でも大丈夫？

これまでのところ、妊婦にワクチンを接種した場合に生ずる特別な副反応の報告は無く、また妊娠初期にインフルエンザワクチンを接種しても胎児に異常の出る確率が高くなったというデータも無いことから、予防接種直後に妊娠が判明しても、胎児への影響を心配して人工妊娠中絶を考慮する必要はないと考えられています。同様にワクチン接種による精子への影響もありませんので、妊娠を希望しているカップルの男性の接種にも問題はありません。



授乳中でも、母乳を介してお子さんに影響を与えることはありません。(ですので、母親が予防接種を受けたからといって、乳児へのインフルエンザ予防を期待することもできません)

## 接種回数は？接種間隔は？

13歳未満の小児は2回、13歳以上の方は1回とされています。

一定の年齢以上(通常13歳以上)だと、ある程度ウイルスにふれているので1度の接種で十分な免疫が得られると考えられています。

それに対し乳幼児は基礎免疫が少ないため、まず1回目でウイルスにふれ、ある程度の免疫ができたところで、もう一度接種してその免疫を補強(ブースター効果)してあげます。

この2回目の接種の間隔は1~4週間とされています。体調不良で接種できないといけませんので、ぴったり4週間目に接種するよりは、2~3週間目で行った方が良いのかもしれない。

